

平成30年度前期実施プログラム一覧(STARTプログラム／START+プログラム)

※平成30年4月現在の予定です。プログラム内容は予告なく変更する可能性があります。

プログラム名/ 研修先大学	渡航期間/定員/ 参加費(※注)	主な研修内容(予定)	引率	宿泊場所	研修先大学の紹介	研修先地域・都市の紹介
第53回STARTプログラム インドネシアの多様な文化と社会変動 ブラウィジャヤ大学 (インドネシア)	8月10日(金) ～8月24日(金) (14泊15日) 定員: 24人 (1年生対象) 参加費: 9万円	◆ブラウィジャヤ大学でのインドネシア語の授業 ◆ブラウィジャヤ大学教員による英語での授業 (インドネシアの社会と文化／伝統と芸術／都市開発問題と対策、自然環境問題と対策／インドネシアと日本の関係／食品加工、など) ◆学校訪問、市内見学 ◆農村部での社会貢献活動、農村でのホームステイ ◆ブラウィジャヤ大学の学生との交流 ◆プロモ山登山(オプション) ◆広島大学学生による英語での発表 ほか	国際協力研究科 中矢礼美 准教授 ほか	ブラウィ ジャヤ大 学 (1-2人1 部屋)	【ブラウィジャヤ大学】 http://www.uib.ac.id/ http://www.uib.ac.id/ ブラウィジャヤ大学 (UB) は、1963年に設立された国立の総合大学で、約6万人の学生が15の学部(法学、経済ビジネス学、農学、工学、薬学、水産海洋学、数理科科学、文化学など)で学ぶ、インドネシアをリードする大学の1つです。文化学部には日本語学と日本教育学科があり日本語を勉強している学生が多数います。(教員の間にも広島大学の卒業生が複数います。広島大学とは1999年から協定を結んでいます。	【マラン市】 ブラウィジャヤ大学のキャンパスがあるマラン市は東ジャワ州第二の都市で、州都のスラバヤから約90km南に位置しています。東にプロモ山を望む高原都市で、オランダ植民地時代にヨーロッパ人の避暑地として発展しました。歴史を感じさせるコロニアル調の建物が今も数多く残っており「東ジャワのバリ」とも呼ばれています。周辺にはマジパヒト王国やシンガサリ王国時代の遺跡も点在しています。
第54回STARTプログラム 台湾の多面的社会と日台関係をめぐる知的探検 国立政治大学 (台湾)	8月19日(日) ～9月10日(日) (14泊15日) 定員: 30人 (1年生対象) 参加費: 7万円	◆知的探検 その1「現地の大学教員から講義を受ける」 ・なぜ台湾で? : 「親日」な人々、日本による植民地統治、日台関係の今 ・日本社会と似ている? 違う? : 戦後台湾の民主化、日本との異同 ◆知的探検 その2「海外での発表に挑戦する」 ・グループ毎にテーマを設定し、現地へ調査・考察し、指導を受け、発表する ◆知的探検 その3「外国語に挑戦する」 ・外国語(英語など)を習得する目的としての中国語研修を実施 ・直接教授法でゼロから中級まで一気に身につける(未履修の学生でも問題なく可能) ◆知的探検 その4「現地学生とともに施設研修へ参加する」 ・台北二二八纪念馆、故宫、中正紀念堂など(現地大学生のアテンドを予定) ◆知的探検 その5「金門で台湾の現在と過去を探る」 昔は中国との「熱戦」の舞台、今は観光や中国との直接交流の場 台湾の離島であり中国大陸沿岸の小島でもある金門を訪問し、参加者自身の目で現在と過去を考える(計画中)	社会科学研究科 西谷元教授 ほか	YMCAホテル (台北駅か ら徒歩3分) を予定(2-3 人1部屋)	【国立政治大学】 http://www.nccu.edu.tw/ 国立政治大学(NCCU)は、1927年に創立されており、文学部、理学部、社会科学部、法学部、商学部、外国語文学部、コミュニケーション学部、国際関係学部及び教育学部の9つの学院(学部)、33学系(学科)、14研究センターを備え、また幼稚園から博士課程までを擁する国立大学です。2005年には中華民国教育部より授業内容と教授法に定評があり、宇宙飛行士の毛利衛氏が博士課程を修了したことでも知られています。学部は、教育・人文・法学部、医・看護・健康科学部、理工学部、社会・行動科学部などで構成。移民と大洋の国であるオーストラリアを象徴するように、世界でも珍しい海洋考古学などの専攻もあります。世界100カ国以上から留学生が集まり、留学生約4,100名を含む約24,000名の学生が在籍(2014年統計)。なお、広島大学とは2012年から協定を結んでいます。	【台北市】 国立政治大学のある台北市は台湾最大の都市圏である台北都市圏の中核都市であり、アジア屈指の世界都市でもあります。人口は約270万人。台北市には、近代的な大通りの風景が見られるだけでなく、火山地形として知られている陽明山国家公園や「故宮博物院」など多数の観光地があり、モダンと伝統が織り交ざるコンドミニアムを感ぜられる都市です。台北はまた、屋上で食べ物が売られる活気ある風景や、大規模に植栽される土林(しりん)夜市などの多くの夜市でも知られています。
第55回STARTプログラム オーストラリアの多文化社会 フレインダース大学 (オーストラリア)	8月24日(金) ～9月10日(月) (17泊18日) 定員: 20人 (1年生対象) 参加費: 12万円	◆フレインダース大学附属語学学校の教員による特別授業 ・オーストラリアの直面する諸問題、歴史、教育 ・英語研修 ◆プレゼンテーション・ディスカッション技能の習得 ◆フレインダース大学の学生とのディスカッション・交流 ◆フレインダース大学の通常授業への参加 ◆現地小学校での日本文化紹介 ◆アデレード市内での研修(南オーストラリア博物館、ランドル・モール等) ◆アデレード周辺地域のエクスカージョン(ワイルドドライブ等) ◆全期間ホームステイ	教育学研究科 丸山 恭司 教授 ほか	ホームステイ を予定 (1-2人1家 庭)	【フレインダース大学】 http://www.flinders.edu.au/ http://www.flinders.edu.au/ アデレード市街の郊外に位置する1966年創設の公立大学。大学名は、19世紀初頭にオーストラリアを船で周回し、この大膽を「オーストラリア」と呼ぶことに貢献した探検家マシュー・フレインダースに由来しています。革新的で質の高い授業内容と教授法に定評があり、宇宙飛行士の毛利衛氏が博士課程を修了したことでも知られています。学部は、教育・人文・法学部、医・看護・健康科学部、理工学部、社会・行動科学部などで構成。移民と大洋の国であるオーストラリアを象徴するように、世界でも珍しい海洋考古学などの専攻もあります。世界100カ国以上から留学生が集まり、留学生約4,100名を含む約24,000名の学生が在籍(2014年統計)。なお、広島大学とは2008年から協定を結んでいます。	【アデレード市】 アデレードは南オーストラリア州の州都で、人口は120万人、国内5番目の都市。「自由移民」によってつくられた街です。都市名は19世紀前半の英国王妃の名に由来しています。計画設計都市であり、市街は整然とした格子状の街路と公園で構成され、ランドル・モールは「ランドル・モール」にはヨーロッパのアーケード街もあります。また、アデレードには、アポリジニの美術や工芸に関する世界一のコレクションを誇る南オーストラリア博物館も存在し、文化施設も充実しています。郊外には、アデレードヒルズという美しい丘陵地帯、海浜リゾート地グレンメルグがあり、自然に親しむこともできます。オーストラリアの野生動物の多くが棲むカンガルー島へのアクセスもこの街が基点となっています。
第56回STARTプログラム タイ・バンコクで考える、グローバル社会におけるキャリアデザイン チュラーロンコーン大学 (タイ)	9月3日(月)～ 9月13日(水) (16泊17日) 定員: 24人 (1年生対象) 参加費: 9万円	◆チュラーロンコーン大学における講義・演習・学生交流 ・政治・経済の動向、社会・文化の特質等に関する英語による講義 ・英語によるプレゼンテーション技法の講義・演習 ・タイ語入門講座・社会文化施設(アユタヤ遺跡、王宮・エメラルド寺院等)見学 ◆現地学生との交流 ◆日系企業・国際機関等訪問による体験型学習 ◆在タイの日系企業(マツダ等)・JETRO/バンコク事務所、JICAタイ事務所、関連機関、現地教育機関(小学校等)の訪問 ◆同訪問先で活躍する日本人による興文化中での職務経験やキャリア形成に係るセミナー ◆英語による最終グループ・プレゼンテーション(政治、経済、社会、教育、文化の5テーマ別) ◆自らの現状を分析し、今後のキャリアを構想するワークショップ等	国際協力研究科 牧 貴史 准教授 ほか	チュラーロ ンコーン大 学の宿舎 を予定(1-2 人1部屋)	【チュラーロンコーン大学】 http://www.chula.ac.th/en/ http://www.chula.ac.th/en/ 1917年に設立されたタイ王国において最も古い歴史をもつ、タイを代表する名門国立大学。大学名はチュラーロンコーン大王(ラーマ9世)に由来。バンコク市街の中心部に広大なキャンパスを有し、19の学部と大学院、その他多数の研究施設で約4万人の学生が学んでいます(2016年統計)。タイトップレベルの外国語教育を行う人文学部の言語文化プログラム(BALAC)では英語による授業が行われ、政財界界のリーダーとなる数多くの人材を輩出しています。広島大学とは2003年から協定を結んでいます。	【バンコク都市】 タイ王国の首都であるバンコクは、人口800万人以上を有するタイの政治・経済・教育・文化の中心地であるだけでなく、近年ではさらにASEAN経済共同体の中核都市の一つとして先進的な国際都市へ成長を遂げています。日系企業の進出も活発であり、在留邦人数は外国の都市で5番目に、東南アジアでは最も多い都市です。バンコク中心部のラッターナーコーン地区にある寺院群や、町の中心を流れるチャオプラヤー川の景観など、近代化が進んだ今でも歴史の建造物が残り、古今の歴史と文化が見事に調和した都市として知られています。
第57回STARTプログラム アメリカの大学、社会と文化 ジェームスマディソン大学 (アメリカ)	9月8日(土) ～9月23日(日) (15泊16日) 定員: 30人 (1年生対象) 参加費: 12万円	◆ジェームスマディソン大学による授業 ・アメリカ史 ・アメリカの社会と文化 ◆通常授業への参加(専門科目含む)、自由研究発表 ◆コミュニティプロジェクトへの参加 ◆ハリソンバグ周辺地域の施設等見学 ◆ジェームスマディソン大学の学生と交流 ◆ワシントンDC 一日グループ研修 ◆全期間JMU学生のルームメイトと学生寮に滞在	外国語教育研究センター 田北冬子 特任講師 ほか	ジェームスマ ディソン大 学を予定 (現地学生 と2人1部 屋でのルー ムシェア)	【ジェームスマディソン大学】 http://www.jmu.edu/ 1908年創立の公立大学。「Knowledge is liberty(知識は自由なり)」のモットーのもと教育が行われています。現在は、文学部、経営学部、教育学部、健康・行動科学部、科学技術部、科学、工学部、芸術科学部の7つの学部と大学院専門職課程によって構成されています。約20,000名の学生が学んでいます。広島大学とは2006年から協定を結んでいます。	【ヴァージニア州】 ジェームスマディソン大学のあるヴァージニア州は、米国東部に位置し、首都ワシントンD.C.から2時間の距離にあります。ヴァージニア州には、歴史ある建物や博物館、美術館などの観光名所が多くあるだけでなく、シェナンドー国立公園を始めとした多数の国立公園があり、自然が豊かなことでも知られています。
第2回START+(プラス) リトアニアで考える平和と国際関係 ヴィータウタス・マグヌス大学 (リトアニア)	8月19日(日) ～9月2日(日) (14泊15日) 定員: 20人 (1・2・3年生対象) 参加費: 12万円	◆ヴィータウタス・マグヌス大学の教員による集中英語コース受講 ・レベル別クラスでのコミュニケーション重視の授業 ・プレゼンテーション・ディスカッション技能の習得 ◆英語学を専攻する現地学生とのディスカッション ◆現地大学教員による特別講義(英語) ・リトアニア語入門・リトアニアの歴史・日本との関係 ・リトアニアにおけるユダヤ人コミュニティ・EUとNATOにおけるバルト諸国 ◆杉原千蔵に関する学習、「杉原ルート」の見学 ◆英語による最終プレゼンテーション ◆現地学生とサークルとの交流 ◆カウナス周辺地域の施設見学(野外博物館、第九要塞(ホロコーストについて学ぶ)、カウナス市役所、修道院) ◆トラカイ及びリトアニアの首都ヴィリニュスでの1泊2日研修 ◆現地家庭での1泊2日ホームステイ	社会科学研究科 松原 正志 教授 ほか	大学近隣の ホテルを予 定(2~4人 部屋)	【ヴィータウタス・マグヌス大学】 http://www.vdu.lt/en/ http://www.vdu.lt/en/ ヴィータウタス・マグヌス大学(VMU)は、1922年に設置されたリトアニア第2の都市カウナスに位置する国立大学。経済学、自然科学、人文科学、情報科学、カトリック神学、美術、音楽アカデミー、政治科学外、社会科学、法学などの学部を擁するリベラルアーツ大学です。多言語の外国語教育において強い実績があり、現代語・古典語を含む約30か国語が教えられています。英語による授業が一般的となっており、25の学位プログラムと300を超えるコースが英語で教えられています。また多くの学生が日本語を学んでおり、日本は最も人気の留学先となっています。広島大学とは2017年から協定を結んでいます。	【カウナス市】 ヴィータウタス・マグヌス大学のあるカウナスは、リトアニアのほぼ中央に位置し、人口35万人強のリトアニア第2の都市です。第二次世界大戦中にはリトアニアの臨時首都が置かれていました。当時、在カウナス日本領事館に領事代理として赴任していた杉原千蔵が、ナチス、ドイツのポーランド侵襲により生命の危機にさらされたポーランドに住むユダヤ人のベネリア鉄道経由での亡命を手助けするために、日本政府の意に反して「命のビザ」とも呼ばれた日本通過ビザの発給を行ったことでも知られています。旧日本領事館は現在、その杉原千蔵記念博物館として一般に公開されています。リトアニアの公用語はリトアニア語ですが、若い世代のほとんどが美しい英語を話しており、外国語としての英語を学ぶ環境が整っています。
第3回START+(プラス)プログラム オーストラリアの多文化社会 フレインダース大学 (オーストラリア)	8月24日(金) ～9月10日(月) (17泊18日) 定員: 26人 (2・3年生対象) 参加費: 12万円	◆フレインダース大学付属英語学校での集中英語コース受講 (他国の学生とともに受講する一般授業への参加を予定) ◆プレゼンテーション・ディスカッション技能の習得 ◆現地学生とのディスカッション・交流 ◆アデレード周辺地域の施設見学(前年度の例: 州立図書館、こども処理場等) ◆アデレード市内での研修(南オーストラリア博物館、ランドル・モール等) ◆アデレード周辺地域のエクスカージョン(ワイルドドライブ等) ◆全期間ホームステイ ◆STARTプログラム引率教職員が同期間オーストラリアに滞在しますが、分かれて行動することもあります。START+プログラムでは参加学生のより自律的な行動が求められます。	教育学研究科 丸山 恭司 教授 ほか	ホームステイ を予定 (1-2人1家 庭)	【フレインダース大学】 http://www.flinders.edu.au/ http://www.flinders.edu.au/ アデレード市街の郊外に位置する1966年創設の公立大学。大学名は、19世紀初頭にオーストラリアを船で周回し、この大膽を「オーストラリア」と呼ぶことに貢献した探検家マシュー・フレインダースに由来しています。革新的で質の高い授業内容と教授法に定評があり、宇宙飛行士の毛利衛氏が博士課程を修了したことでも知られています。学部は、教育・人文・法学部、医・看護・健康科学部、理工学部、社会・行動科学部などで構成。移民と大洋の国であるオーストラリアを象徴するように、世界でも珍しい海洋考古学などの専攻もあります。世界100カ国以上から留学生が集まり、留学生約4,100名を含む約24,000名の学生が在籍(2014年統計)。なお、広島大学とは2008年から協定を結んでいます。	【アデレード市】 アデレードは南オーストラリア州の州都で、人口は120万人、国内5番目の都市。「自由移民」によってつくられた街です。都市名は19世紀前半の英国王妃の名に由来しています。計画設計都市であり、市街は整然とした格子状の街路と公園で構成され、ヴァンクリア期のコロニアル様式の建築が多数残っています。中心部の歩行者街路「ランドル・モール」にはヨーロッパのアーケード街もあります。また、アデレードには、アポリジニの美術や工芸に関する世界一のコレクションを誇る南オーストラリア博物館も存在し、文化施設も充実しています。郊外には、アデレードヒルズという美しい丘陵地帯、海浜リゾート地グレンメルグがあり、自然に親しむこともできます。オーストラリアの野生動物の多くが棲むカンガルー島へのアクセスもこの街が基点となっています。

(※注) 参加費には国内交通費を含みません。参加費のほかに、自己負担費用として、海外旅行保険料、パスポート申請費、日本国内交通費、現地交通費、お小遣い(食費含む)などがかります